

## 「天皇の皇后化」

～以下、「皇后考」（下記のURLをクリック）より～

<http://fileshef.cocolog-nifty.com/blog/files/jp150329kougoukou.pdf>

**皇后は「皇后になる」という主体性を要求される。**これは天皇にはない特有の葛藤だ。そこには「皇后とは何か」という強烈なアイデンティティが発生することになる。現皇后美智子は、象徴天皇制の下、慈母的な存在として自らを表現している。武闘的な神功皇后をモデルとした節子さだこ（引用者：大正天皇の後きさき）とは対照的な皇后像を築き、戦後という時代と並走している。この皇后の平和主義的なあり方に、今上天皇は寄り添っている。著者はここに「天皇の皇后化」を見る。**皇后のあり方は、時代や環境、パーソナリティに大きく左右される。そして、パートナーである天皇のあり方にも大きな影響を与える。**皇后の役割は、極めて重要で大きな意味を持っている。

この文書は、

「天皇・皇后ご夫妻（および皇太子）の「生命・環境・人権よりも経済・軍事・統制を優先する」動きとの闘い」（下記URL をクリック）

に掲載されているものです。

<http://fileshef.cocolog-nifty.com/blog/2013/05/post-f31f.html>